

目 次

陽子ビームモニター

はじめに	7-1
1 ビームの作る電磁場	7-1
1.1 荷電粒子の電磁場	7-1
1.2 真空チャンバーと壁電流	7-2
1.3 ビームの電磁場	7-3
1.3.1 鏡像法	7-3
1.3.2 光速以下で進行するビームの電磁場	7-5
1.4 検出信号の周波数分布	7-6
1.4.1 周回していることによる周波数分布	7-6
1.4.2 バンチ内粒子分布の影響	7-6
1.4.3 ベータトロン、シンクロトロン振動の影響	7-6
1.5 周波数特性と波形	7-7
1.5.1 低域通過型	7-8
1.5.2 高域通過型	7-10
1.5.3 帯域通過型	7-11
2 ビーム強度モニター	7-13
2.1 電流トランス Current Transformer (CT)	7-13
2.2 帰還型電流トランス	7-15
2.3 Direct-Current Current Transformer (DCCT)	7-17
2.3.1 直列フィードバック方式DCCT	7-20
2.3.2 並列フィードバック方式DCCT	7-22
2.4 J-PARC MR で使用されているCT	7-23
2.4.1 DCCT	7-23
2.5 Fast Current Transformer (FCT)	7-23
3 ビーム位置モニタ Beam Position Monitor (BPM)	7-24
3.1 静電誘導型ビーム位置モニター	7-24
3.1.1 ボタン型電極BPM	7-25
3.1.2 誘起信号の計算	7-25
3.1.3 ビーム位置感度係数の計算	7-26
3.1.4 三角電極型	7-27
3.1.5 対角線カット型電極BPM	7-28
3.2 電磁誘導型ビーム位置モニター	7-30
3.2.1 壁電流モニター Wall Current Monitor, WCM	7-30
3.2.2 ストリップライン型電極BPM	7-31
3.3 ビーム振動モニターと位置モニター	7-33
3.4 モニターとその応用	7-33
3.4.1 ビーム軌道モニターと軌道の修正(COD の補正)	7-34
3.4.2 ベータトロン振動モニター	7-34

4 ビームプロファイルモニタ Beam Profile Monitor	7-35
4.1 エミッタンス及びエミッタンスの測定	7-35
4.2 二次電子放出電流検出型ワイヤーモニター	7-36
4.3 残留ガスイオン化式プロファイルモニターResidual Gas Ionization Profile Monitor (IPM)	7-37
4.4 Optical Transition Radiation (OTR) モニター	7-37
4.5 Flying-wire モニター	7-38
5 ビームロスモニタ Beam Loss Monitor (BLM)	7-39
5.1 大強度陽子加速器におけるビームロス	7-39
5.2 比例計数管検出器	7-39
5.2.1 電離箱の動作原理と動作領域	7-39
5.2.2 比例計数管の構造	7-40
5.2.3 出力波形の時間応答	7-41
5.2.4 プラスチックシンチレーション検出器	7-41
5.2.5 光電子増倍管	7-42
5.2.6 出力波形の時間応答	7-42
5.3 J-PARC MR で使用されているビームロス検出器	7-43
6 ビームフィードバック制御	7-43
6.1 Wake Field	7-44
6.2 不安定性の抑制	7-45
6.3 バンチ・バイ・バンチフィードバック(Bunch by Bunch Feedback)	7-45
6.4 イントラバンチフィードバック(Intra-Bunch Feedback)	7-46
7 Electron Cloud Monitor	7-46
7.1 電子雲不安定性	7-46
7.2 Electron cloud monitor	7-47
おわりに	7-48
謝辞	7-49
参考文献	7-49